

年末調整の準備はお早めに

今年も年末調整の時期となりました。
年末調整は、給与を受ける1人1人について、すでに徴収した源泉税額と1年の給与総額に対して算出される年税額との過不足を精算する手続きで、源泉徴収の総決算ともいべきものです。とても大切な手続きですので、**必要な資料の回収など、手続きの準備は早めに行いましょう！**



昨年と比べて変わった点

平成24年分より生命保険料控除が改組されました。

生命保険料控除について、新たに介護医療保険料控除（適用限度額4万円）が設けられました。それに伴って、平成24年1月1日以後に締結した保険契約等に係る控除と、平成23年12月31日以前に締結した保険契約等に係る控除、新契約と旧契約の両方について保険料控除の適用を受ける場合の控除額の計算に注意が必要です。詳しくは年末調整の手引きをご覧ください。

その他の改正点など、詳しくは弊社担当者へお尋ねください。

経営に役立つメールマガジン



永田経営グループでは、定期的に皆様のお役に立つような記事をメールマガジンでも発行しております。

経営、労務、税務、会計、マーケティング、業種別情報等様々な情報を提供させていただきます。

全て2、3分程度で読め、すぐ実践していただける内容ばかりです。ぜひ、ご覧ください。

なお、配信ご希望の方は、

mm@nagatakei.co.jp

宛に空メールを送信してください。

パソコン用メールアドレスのみとなりますので、ご了承ください。



正直な告白が事故を防ぐ



中小企業は経営者の情熱や熱意をガソリンに走っています。5人、10人の規模なら良いのですが、50人、100人といった規模に成長すると、経営者一人では全体を把握できなくなります。経営者のカリスマのみで経営してしまっていると、「悪いニュースが社長の耳に入らない」という情報詰まりが起これがちです。



事故やミスの報告は表彰したって良いくらい

ある軍隊では、訓練の際に空母上で「ランチがひとつ無くなった」との報告を受けた上官はすぐさま艦長に報告。その直後、艦長より「すべての訓練を中止にし全員でランチを探せ」との命令が下り、空母上に搭載されていた戦闘機はすべて安全のため陸上基地へと帰還させられたそうです。

また、ある高速鉄道の運転手は、運転途中でメガネを忘れていたことを気付き、すぐさま上司に報告したそうです。すると、緊急で列車停止命令が下り、至急手配された交代要員と最寄り駅で交代させられたそうです。

どちらも、実にささいなミス。報告をサボっても、大きな事故は起これないかもしれない事例です。しかし、これらを原因に大事故が起これてもおかしくないミスでもあります。

興味深いのは、どちらの組織も「自分のミスを即座に報告した」との理由で表彰されている点です。「報告したら怒られるかも」「罰せられるかも」と思ったら、人間は隠そうとします。それでは、何かが起こったとき、もう時すでに遅し。取り返しの付かない事態に陥っているでしょう。



中小企業は経営者の判断一つで未来が大きく変わります。悪いニュースも自然に報告されるよう体制を整えることでより正確な指示を出せるようになるでしょう。

